

[粕沢川]

粕沢川は、河積（川の断面積）が小さく、河川流路も屈曲しているため、浸水被害が発生していることから、下流より河川改修を実施してきたが、翁橋上流から粕沢橋までの区間は、未改修で河積が小さく、計画流量の3分の1の流下能力しかない。また、流域上流部でも宅地の浸水被害が発生しており、高崎市では下水道（雨水排水）事業を実施予定だが、雨水排水の放流先が当該区間であることから、流域全体の治水安全度向上のため、下水道（雨水排水）事業と協調して、河川事業を実施する必要がある。

このため、河道の拡幅及び線形改良により、概ね10年に1回程度発生すると予想される洪水を安全に流下させる。

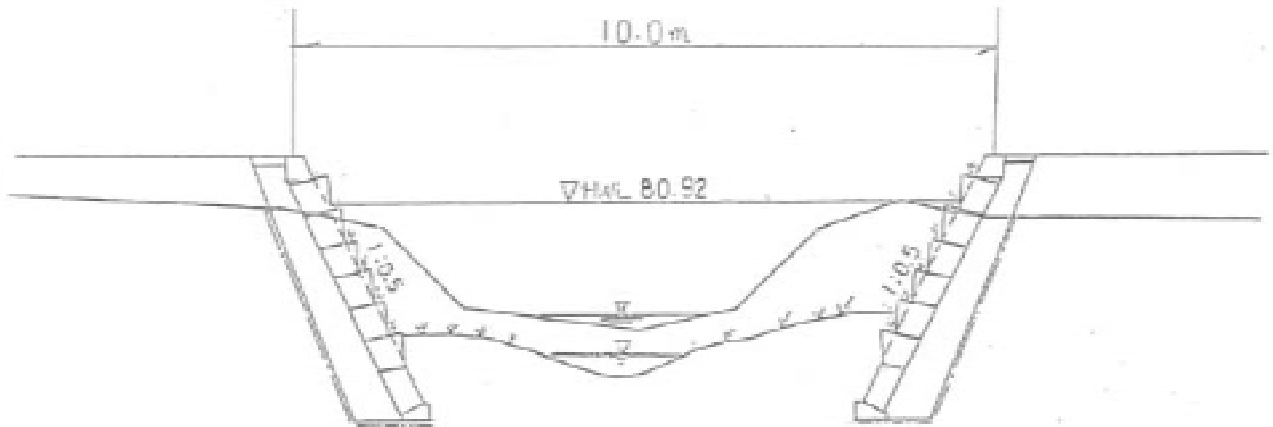
改修にあたっては、史跡浅間山古墳の史跡環境と一体となった河川環境の創出を心がけ、地被植物や草類が生え茂るよう工夫したブロック等を使用する。また、治水計画及び河川管理上支障が無い現存の樹木は保存するとともに、河川用地に余裕がある所は、瀬と淵を作って、自然な水際となるよう工夫する。

施行の場所	翁橋上流から市道6号橋上流まで
延 長	L = 約800m
整備の内容	河道掘削、護岸工、橋梁架けかえ

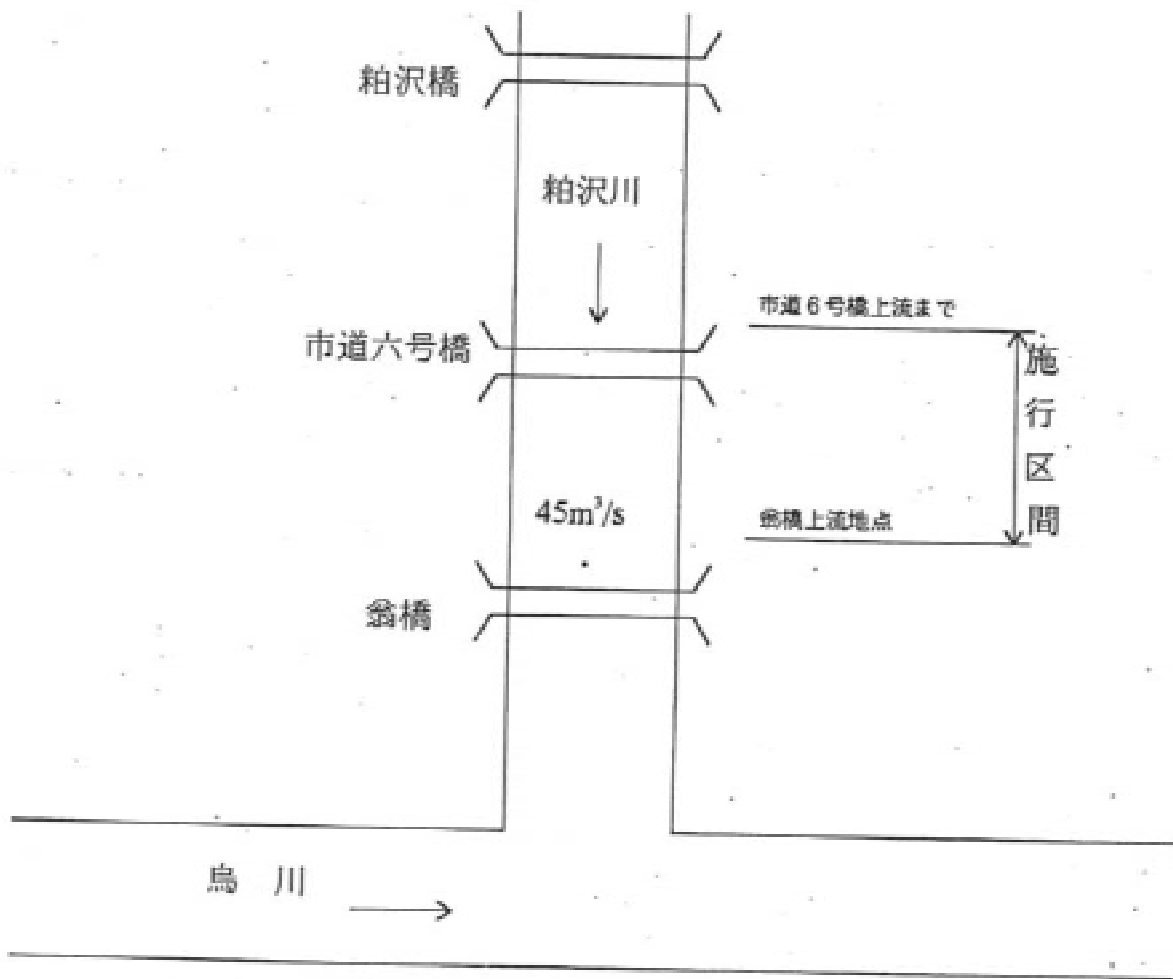


平 面 図（縮尺：1/25,000）

[粕沢川]



代表横断面図（翁橋上流480m地点）



計画流量配分図